

居宅介護支援事業所アンケート調査結果の概要 (第2回高齢者福祉専門分科会 資料3-2追加資料)

1 介護支援専門員の状況について

(1) 回答のあった事業所全体の結果

充足	5
概ね充足	22
不足	13
その他	14
計	54

介護支援専門員の状況については、半数の事業所が、「充足」又は「概ね充足」していると回答している一方、4分の1の事業所が「不足」と回答している。

(2) 介護支援専門員が一人の事業所 11 事業所

充足	1
概ね充足	4
不足	2
その他	4
計	11

介護支援専門員が一人の事業所は11事業所であり、その内「充足」又は「概ね充足」と回答したのは5事業所、「不足」と回答したのは2事業所である。

【他の意見】

- ・一人でできる範囲のケースをこなしている。

(3) 特定事業所加算を算定している事業所 27 事業所

充足	1
概ね充足	11
不足	7
その他	8
計	27

常勤専従の主任介護支援専門員を2名以上配置していること、常勤専従の介護支援専門員を3名以上配置していることなどを要件とした特定事業所加算を算定している事業所は、27事業所あり、「充足」又は「概ね充足」と回答したのは12事業所で、「不足」と回答したのは7事業所である。

【他の意見】

- ・今は充足しているが、退職する職員があってもすぐに確保できるとは限らない。
- ・相談件数が増えており、増員したいが希望者がいない。

(4) 複数の介護支援専門員を配置している事業所（特定事業所加算の算定なし）16 事業所

充足	3
概ね充足	7
不足	4
その他	2
計	16

複数の介護支援専門員を配置しているが、特定事業所加算を算定していない事業所は、16事業所あり、「充足」又は「概ね充足」と回答したのは10事業所、「不足」と回答したのは4事業所である。

【その他の意見】

- ・不足しており、人員を増やすことができない。
- ・開設当初より、求人募集（1人）するも応募はなく、新規依頼が多くても、受け入れ態勢の確保ができておらず、断らざるを得ない状況が2か月以上続いている。

(5) 介護支援専門員が一人配置の事業所や特定事業所加算の算定の有無にかかわらず複数の介護支援専門員を配置している事業所での介護支援専門員の状況に関する所感は、概ね変わらず、半数の事業所が「充足」又は「概ね充足」と回答し、4分の1の事業所が「不足」していると回答している。

介護支援専門員が一人配置の事業所では、一人でできる範囲のケースを行っている、介護支援専門員を複数配置している事業所でも、相談件数が増えても対応できない、退職する職員があってもすぐに確保できない等、介護支援専門員の確保等に関して危機感を持っている状況が伺える。

市として、介護支援専門員の安定的な確保に向け、介護支援専門員や主任介護支援専門員に対する資格取得費用の一部を助成するなど、今後も継続的な支援が必要であると考える。